

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

舞鶴幼稚園

早緑子供の園

2011(平成23)年度 学校法人 西南学院 事業計画書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 学校法人 西南学院

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement of Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目次

はじめに	1
I. 学校法人西南学院の事業計画	2
1. 教育理念と目標	
2. 「21世紀の西南学院」のテーマ “Impacting the World”	
3. 100周年及びその後を視野に入れた中長期計画	
4. 2011年度における主な事業計画	
II. 西南学院大学事業計画	4
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画 第11次財政計画（2010～2013年度）	
3. 2011年度における主な事業計画	
III. 西南学院中学校・高等学校事業計画	8
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2011年度における主な事業計画	
IV. 西南学院小学校事業計画	10
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2011年度における主な事業計画	
V. 舞鶴幼稚園事業計画	12
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2011年度における主な事業計画	
VI. 早緑子供の園事業計画	13
1. 保育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2011年度における主な事業計画	
VII. 資料	14
各学校事業及び行事予定	

はじめに

2011(平成23)年度の事業計画を策定するにあたって特筆すべきは、2011(平成23)年は西南学院が創立から100年目を迎えるカウントダウンを始める体制に入ったことである。2016(平成28)年の創立100周年までいよいよあと5年と迫り、100周年の節目を記念するに相応しい事業、活動を実現するために、2011年度から具体的な事業を展開していく計画である。

1916年、福岡市大名町に創設された教職員9人、生徒104人からスタートした「私立西南学院」が、現在の学校法人西南学院(以下、「学院」という。)の母体である。1921年には旧専門学校令による高等学部を開設し、1940年、西南保姆学院を開設。第二次世界大戦を経て1947年に中学校、1948年に高等学校を開設、1949年への大学設置へと繋がる。その後、1950年には早緑子供の園(保育所)と舞鶴幼稚園を学院内組織に組み入れたことによって、現在の学院の基盤ができあがった。

創立者 C.K. ドージャーの教育理念は「キリスト教に基づく人格教育」であり、その遺訓である“*Seinan, Be True To Christ* - 西南よ、キリストに忠実なれ-”は、学校法人西南学院の「建学の精神」として今に継承されている。

1999(平成11)年3月の理事会では、建学の精神を踏まえて、学院の使命を「学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする」と定義した。学院の各学校・園では、建学の精神と使命を踏まえて、各々の教育理念を分かりやすく伝えることに力を入れており、本事業計画でも各学校・園の章の冒頭に「教育理念と目標」として掲載している。

一粒の麦から、次の100年に向かって



2016年の創立100周年に向けて、西南学院の各学校・園では、「Thanks and Next ～一粒の麦から、次の100年に向かって～」をコンセプトに、今後、様々な活動を展開する。そのコンセプトを具象化したロゴマークには、これまで学院を支えてくれた全ての人々への感謝と、これからの100年に向けて一粒の麦から始まった西南学院の「人、学び、絆」の輪が、地域、世界に広がっていく未来へ羽ばたくイメージが表現されている。

学院は、建学の精神と使命、そして各学校・園の「教育目標」と「中長期計画」に基づきながら、2011(平成23)年度の事業計画を進めていく。

I. 学校法人西南学院の事業計画

1. 教育理念と目標

21 世紀の西南学院は、創立 100 周年(2016 年)を一つの節目として、建学の精神に根ざして積極的に真理を探究し、研究活動を進め、キリスト教に基づく全人格的教育・保育の活動を継続する。そして同時に、激しく変化する学院内外の環境に柔軟に対応し、社会のニーズにも可能な限り応えることができる学院を目指す。

2. 「21 世紀の西南学院」のテーマ “Impacting the World”

- ① 世界を導く力：真理に基づいて、世界を導く力を養う。
- ② 先駆ける精神：他に先駆けて、善と正義を実行しようとする精神を養う。
- ③ 思いやりの心：他者、社会、そして地球を思いやる心を養う。

3. 100 周年及びその後を視野に入れた中長期計画

創立 100 周年事業に向けての取組み

“Thanks and Next ～一粒の麦から、次の 100 年に向かって～”

一粒の麦から始まった学院に感謝し、次の 100 年に向かって、100 年後も繁栄した学院の基礎を作る。

① 保育・教育

建学の精神と一貫した保育・教育理念に基づいて、各年齢段階に相応した質の高い保育・教育を提供し、社会に貢献できる国際的な人材を養成する。

② 研究

個人及び共同による基盤的な研究と特色のある研究を活性化、推進し、学术界に貢献する。

③ 施設・設備

保育・教育、研究、学習及び園・学校での生活が効率的かつ快適にできるように施設・設備を充実する。

④ 経営と財政

迅速かつ適正な判断と行動ができるように経営体制を整備し、それを可能にする財政基盤を確立する。

⑤ 社会貢献と地域連携

学院が持つ知的資源の社会への還元を進め、温暖化対策の推進、環境問題への取り組みを含めて最大限に貢献する。

4. 2011 年度における主な事業計画

(1) 本学の保育・教育の特色の強化

時代や環境の要請に応え、社会に貢献できる国際的な人材を育成するために、各学校・園において質の高い充実した保育・教育を提供する。そのために、教職員の能力の向上を図るための研修を充実し、継続して変革できる能力を育成する。

(2) 教育研究費の充実

保育・教育、研究への積極的な投資及び奨学金の充実を含む学生生活支援を目的とし

た財源確保のため、総人件費の抑制に関する種々の施策を進めると同時に、創意工夫によるコスト削減を図る。

(3) 学院創立100周年に向けた広報戦略の策定と事業の推進

学院創立100周年のキャッチフレーズと4つの基本コンセプトに基づいて広報戦略を策定してブランドイメージの浸透と向上を図るとともに、創立100周年に関連する各事業を推進する。同時に、同窓会と連携・協力し、寄附金戦略を策定し推進する。

(4) 「エコキャンパス」の促進

学院環境マネジメント委員会を中心に、エネルギーの管理を適切に行って、温暖化対策・環境問題への種々の取組みを推進するとともに、西新・百道浜地区との連携を強化する。

(5) 健全な財政基盤の確立

校納金の安定的な確保と補助金や寄附金及び資産運用収益等の増加及び株式会社キャンパスサポート西南の財政的貢献の拡大により、基本金の計画的な組み入れを行って収支の平準化を図る。

Ⅱ. 西南学院大学事業計画

1. 教育理念と目標

(1) 大学の教育理念と目標

西南学院大学は、教育理念と目標を学則第1条に以下のとおり定めている。

「キリスト教を教育の基本理念とし、深遠な学術研究とそれに立脚した教育を基盤に、学術文化の向上に寄与するとともに、地域、日本、そして世界に貢献できる教養豊かで深い専門知識と創造性を備えた人材を育成することを目的とする。」

(2) 教育の四つの特色の強化

①キリスト教主義に基づく人格教育

「キリスト教学」を通じて、聖書の学問的理解、キリスト教の教理及び倫理思想等の概説等を学び、キリスト教への知的理解を深めることによって学生個々人の良心的な人格の形成を行う。

また、大学チャペルでは、人格形成に関する事柄や、人生と社会の諸問題等について、聖書を倫理的な基礎として、様々な角度からの講話を提供する。

②国際性

多様な国際交流プログラムを用意して、異文化を理解する能力、そして異文化社会に適応できる能力、さらに複数の文化的視野を備えるための国際的なコミュニケーション能力を育成する。

10か国29大学への約1年間及び1学期間の派遣留学、私費留学の支援、夏季・春季休暇中の短期語学研修等の海外留学の機会、学内における海外からの留学生との交流の機会を提供する。

2011年度からは、上記に加えて韓国の高麗大学校、中国の華東師範大学との交流を開始する。

また、留学生別科では、各協定校から毎年約50名を受入れ、スタディー・アブロード型プログラムによって、日本語の他に、日本文化や経済等に関する20科目を英語で提供している。

さらに、学部教員(185名)のうち外国人教員が占める割合は約9.7%(18人)となっており(2011年4月1日現在)、協定校のうち5つの国・地域の5大学と教員の派遣・受入れを行い、国際化を推進している。

③少人数教育

学生と教員との人格的なふれあいを重視し、1・2年次ではクラス制を採用し、クラス主任が学生の相談を受け、アドバイスを行う。また外国語やキリスト教学等の教養的科目、基礎演習等の専門科目で少人数による学修指導を行い、3・4年次の少人数のゼミナールでのテーマ別の研究を通じて大学教育の仕上げを行う。

④語学教育と情報処理教育

語学教育の中核である言語教育センターでは、充実したCALL・LL・AV機器と豊富な教材を完備し、これらを活用した語学教育を活発に行い、授業では、映像(インターネット、DVD、ビデオ等)と音声を効果的に用いた実践的な語学教育を行う。また、情報処理センターでは、約70室のマルチメディア教室を用意し、情報リテラシー教育から高度な情報処理技術の習得を目指した教育を行う。

2. 中長期計画 — 第 11 次財政計画(2010～2013 年度)

(1) 第 11 次財政計画の基本方針

第 11 次財政計画のテーマは、「教育と研究の充実と強化」である。

第 10 次財政計画から継続している課題や問題、各学部、各研究科、各部署等から調査、収集した要望を基に重要度と緊急度の視点から整理し、「教育と研究の充実と強化」のための財政的な措置と、組織や制度の整備、施設整備長期計画の第一フェーズで決定している事業を実施する。

(2) 第 11 次財政計画での事業の概要

①「教育と研究の充実と強化」のために

- i. 既設の「特色ある学部教育実施経費」の増額を図ると共に、「大学院、法科大学院の特色ある教育実施経費」を新設し、学生の学習に対する要望への対応、教員の教育内容や授業方法の改善に対する希望へ対応する。
- ii. 教育・研究推進機構による教育・研究の特色強化のための資金を増額し、現行の学内 GP 制度(特色のある教育及びその萌芽的な取組を育成する制度)を拡充して学部や大学院研究科での特色ある教育の取組を支援すると共に、共同研究育成制度(特色のある共同研究、学際的な共同研究を育成する制度)を展開して、特色ある共同研究の取組を支援する。
- iii. 「大学奨学基金」を充実させ、学内奨学金の種類や額を増やし、学生支援を行う。また、「教育研究振興基金」(上記(2)① ii の取組みをはじめ本学の教育と研究を充実・強化するための資金を充実させるための基金)を充実させ、教育と研究の質の向上と特色強化を行う。

②語学教育の強化のために

2010 年度に 6 号館及び自然科学館を解体し、その跡地に「言語教育センター棟」を建設する。

学生の語学力向上を促すために、施設を新築し、現代的なニーズに対応した機器の設置と充実を行う。

③情報処理教育の充実のために

学生の情報処理能力の向上を促すために、SAINS の更新及び学内 LAN の機器、サーバ、パソコンの更新を行うと共に、マルチメディア教育機器を更新する。

④エコキャンパスの充実のために

大学環境マネジメント委員会が主導して、エネルギーの管理を適切に行い、大学全体での温暖化対策、環境問題への種々の取組みを推進する。施設面では、校舎屋上へ太陽光発電機器等を計画的に設置する。

3. 2011 年度における主な事業計画

(1) 「教育と研究の充実と強化」のために

①人間科学部心理学科の設置準備

人間科学部に心理学科を設置するために、文部科学省へ必要な手続きを行うとともに、心理学科設置に伴って必要となる学内の組織、制度、施設・設備の整備を進める。

②学生の学習に対する要望への対応、教員の教育内容や授業方法の改善に対する希望への対応として、各学部・学科及び大学院研究科単位で実施を希望する取組を募集し、所定の会議で選定した上で実施する仕組みを設け、開始する。

③教育・研究推進機構では、各学部・学科及び大学院研究科での特色ある教育を発掘し、育成するために、学内 GP 制度を検証して必要に応じて再編成する。2009 年度から開

始した共同研究育成制度で採択された4件の共同研究を支援し、継続して新たな共同研究を募集・採択する。

- ④「大学奨学基金」を充実させ、学内奨学金の種類や額を増やし、多様なニーズに対応した学生支援を行う。また、「教育研究振興基金」を充実させ、教育と研究の質の向上と特色強化を行う。そのための基金として1億円を積立てる。
- ⑤「文部科学省GP」に採択されている以下の三つの事業を継続的に支援する。
 - ・将来の進路を展望した人間力・学士力向上プログラム(平成21年度大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム)
 - なお、文部科学省からの支援が終了する以下の事業は、参加大学で継続して展開し、必要に応じて支援を行う。
 - ・国公立大コンソーシアム・福岡ー地域からアジアへ、環境・エネルギー問題に挑むー(平成20年度戦略的大学連携支援事業)
- ⑥大学(大学院)設置基準及び認証評価基準への適正な対応と、2010年度の認証評価結果への対応のために、課題を抽出して自律的に展開する。
- ⑦学部・学科の共通科目として、自校史講義「西南学院史」を開講する。オムニバス形式で、多様な学問分野の講師によって西南学院の歴史を分かりやすく講義する。
- ⑧博物館での特別展、特別企画
博物館では、春季特別展として、海と船の博物館ネットワーク協議会の助成をうけて「海流に魅せられた島 天草一祈りの原点とキリシタン文化」、秋季特別展では、玉川大学教育博物館と共同して「イコンー東西聖像画の世界」を開催する。また、「古写真でみる西南学院-1-」などの企画展をはじめ、「せいなんこどもワークショップ」などを実施する予定である。
- ⑨公開講座の開講
公開講座運営委員会では、前期・後期に区分して公開講座を開講する。前期には、「ビジネスの未来像」を開講する。後期も開講を予定している。
- ⑩大学間連携の推進
九州大学、福岡女子大学と本学との包括連携を核として、国公立大コンソーシアム・福岡、Q-Links(九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク)、福岡西部地区5大学連携等の複数の大学間連携事業を継続的に推進する。
- ⑪EU Institute in Japan九州コンソーシアムの推進
2011年4月から、九州大学、福岡女子大学及び本学で構成し、EU委員会がスポンサーとなるEU Institute in Japan九州コンソーシアムを設置する。計画に基づき、円滑な展開を図る。

(2) 教育と研究の環境整備のために

- ①言語教育センター棟建設と機能移転
6号館及び自然科学館を解体し、跡地に言語教育センター棟を建設する。言語教育センター棟の建設に併せてCALL・LL機器の更新、CALL教室の増設及びメディア学習室等を新設する。
- ②校舎等耐震改修工事
老朽化により耐震改修が必要な学術研究所、図書館旧館等を、2011年度から2013年度の期間で計画的に耐震改修する。
- ③情報処理環境の整備
西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)の更新、マルチメディア教育機器の更新を、2010年度から2013年度の期間で計画的に整備する。

④将来の施設建設資金

体育館、西南会館及びメディア棟(仮称)の新築資金を、各施設の目標建築年度を考慮して、計画的に積み立てる。

⑤学生証及び教職員名札の IC カード化

2010 年度に引き続き、学生証及び教職員名札を、現在の磁気ストライプカードから IC カードへと移行する検討を行う。

⑥エコキャンパスの第一歩

大学環境マネジメント委員会の活動を充実させ、省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理に努め、環境負荷の低減に取り組むとともに、建設予定の校舎屋上に太陽光発電機器等を設置することを検討する。

Ⅲ. 西南学院中学校・高等学校事業計画

1. 教育理念と目標

西南学院の建学の精神を伝える言葉として、C. K. ドージャー先生の“Seinan, Be True To Christ — 西南よ、キリストに忠実なれ—”という言葉が残されている。この精神を守ることが私たちの役割であり、西南のアイデンティティーとなっている。間もなく100周年を迎えようとしている西南学院と私たちは、「キリストに忠実」であるために、以下のような考えで教育を行っている。

(1) 隣人(他者)に仕える。(「隣人を自分のように愛しなさい」ルカによる福音書第10章27節)

私たちには、神さまから多くの「賜物(能力・個性)」が与えられている。それらをどのように用いるのか。「何のために生きるのか」「何のために勉強するのか」という問題は若い諸君にとって、いつの時代も「自分さがし」の普遍的なテーマである。これらの課題と向き合いながら、その賜物をどのように生かし、自己実現を達成するのかを考えて欲しいと思っている。聖書では、「隣人」とは自分より弱い立場や、困難な状況に置かれた人を表す重要な言葉である。聖書は、その隣人に仕え、「共に生きる」生き方を教えている。

(2) 平和を作り出す。(「平和を実現する人々は、幸いである」マタイによる福音書第5章9節)

「隣人に仕える」とは、具体的にどのようなことなのであろうか。私たちの周りには今も戦争や暴力、人権侵害、貧困などの問題が多くある。更に、私たちは限りある資源を消費することで、環境を破壊して生きている。21世紀に生きる私たちには、これらの問題に対して、地域で、地球規模で「平和を実現する」ことが求められている。アフガニスタンでの中村哲医師(西南学院中学校出身、ペシャワール会)の活動は、私たちに大きな示唆を与えてくれる。

中学・高校時代にどのような教育を受けるかによって、その後の人生の豊かさが大きく違ってくる。彼らのこれからの人生の土台となり、大きな方向性を与えるだけでなく、自分が本当に進みたい大学の学部や学科などの進路を決定する動機付けともなるからである。そういう意味で、この時期をどのように過ごすのか、その「中身」が大切である。若い今は不安でいっぱいであるかも知れない。しかし、整えられた施設内での、豊かな歴史の上にキリスト教を土台にした人格教育と授業、確かな進路指導、多彩なクラブ活動やボランティア活動などは、十分に彼らの期待に添えるものであると考えている。

2. 中長期計画

少子化と経済不況の中で、私立学校は大きな試練に直面しており、定員の確保が大きな課題となっている。幸いにも本校は志願者に恵まれているが、それを維持できるよう努めなければならないと考えている。

2003年度に西新校地から百道浜校地に移転して、早いもので8年が過ぎ、今後は建物維持及び修繕について検討する時期になっている。また、同時に教育設備の更新などについても同様に検討する必要がある。

これらの計画については、財政計画も含めて多方面から検討する必要があり、現在、鋭意作業を進めている。

また、西南学院小学校からの受け入れについても計画の中に組み入れ、生徒募集計画を

検討する必要がある。

主な中長期計画としては、次のものが計画されている。

2011 年度	①デジタル放送に対応した視聴覚教室などの改修 ②教職員 PC の更新 ③マルチメディア教室の更新 ④保健室の改修
2012 年度	建物、電気設備、衛生設備の改修・更新
2014 年度	西南学院小学校から中学校・高等学校への受け入れ
2016 年度	体育館への空調機器の設置
2017 年度	屋内長尺シート類の張り替え

3. 2011 年度における主な事業計画

(1) 学校評価の検討

自己評価、外部評価についての研究を行い、導入に向けて検討を行う。

(2) 奨学事業の充実

2008 年度から 3 年をかけて 3 億円の奨学基金の積み立てを行った。この基金を有効活用して経済的援助が必要とされる生徒に広く援助を行う。

(3) 教育カリキュラムの検討

新学習指導要領に対応した教育カリキュラムについて、教育課程、時制、教職員スタッフ等の検討を行う。

(4) アトリウムへの落下物防止

アトリウムへの不注意による落下物防止を図る。

(5) 保健室の改修

現在の保健室は、中学校と高等学校に別れているが、これを統合した保健室を検討しており、2011 年度に改修を行う。

(6) 西南学院小学校と中学校との連携について

2014 年度から西南学院小学校からの受け入れについて中学校・高等学校として、どのように受け入れを行うかについて小学校とともに検討を行う。

(7) 広報活動の充実

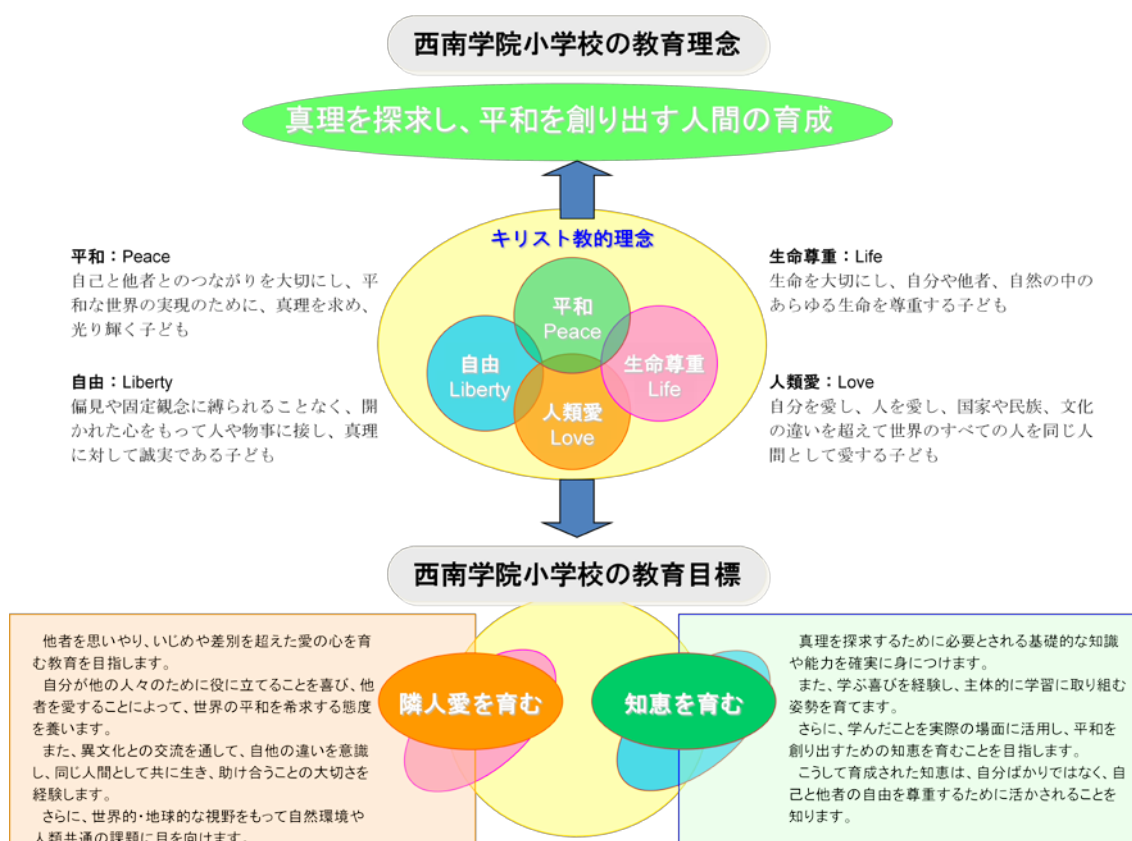
入試広報部設置に向けて具体的な検討を行い、これまで以上に広報活動に力を入れる。

IV. 西南学院小学校事業計画

1. 教育理念と目標

小学校の教育理念及び教育目標については、“Seinan, Be True To Christ — 西南よ、キリストに忠実なれー”という西南学院の建学の精神を基盤としながら、小学校に相応しい内容となるように策定している。

具体的には、小学校の設置にあたり院長が提示したキリスト教的理念（Peace：平和、Life：生命尊重、Love：人類愛、Liberty：自由）から、小学校が目指す子ども像を導き出し、それを基盤として検討を重ねた結果、教育理念を「真理を探求し、平和を創り出す人間の育成」、教育目標を「隣人愛を育む」「知恵を育む」と定めている。（下図参照）



2. 中長期計画

(1) 教育目標の達成

毎朝の礼拝や宗教の授業、キリスト教に関する行事等を通して、低学年時からキリスト教への理解を深める教育を行うことにより、隣人愛を育てていく。

また、日々の学習習慣をしっかりと身につけさせ、児童の学力向上を図るとともに、実践授業や体験活動を通して、学んだ知識や技能が生かされることにより、知恵を育む。

このことにより、小学校で学んだ児童全員が学習面及び生活態度面の両方において教育目標を達成し、西南学院中学校へ進学できるように成長することを目指す。

(2) 教員の質の向上

教科ごとの指導方法研究、教員間の授業参観(公開研究授業)の実施、学内研修やキリスト教学校教育同盟等の外部研修への参加、授業評価などを通して、教員のスキルアップを目指す。また、新任教員や経験が浅い教員に対する育成システムの構築を図る。

さらに、礼拝等を通してキリスト教への理解を深めることにより、教育力だけでなく、キリスト教主義学校に勤務する教員に相応しい倫理観の育成に努める。

(3) 財政基盤の確立

入学定員を充足させ、安定した授業料収入を得るとともに、寄附金納入の割合を増やすなど財政基盤の確立を図る。

また、教員の採用にあたっては、年齢配分や適正な人員配置などに留意して計画的に雇用を行い、人件費支出の抑制を目指す。

3. 2011年度における主な事業計画

(1) 教育プログラムの改善・充実

開校2年目を迎え、教育プログラムの改善・充実を図る。ネイチャーキャンプ、スポーツフェスティバルやアセンブリーなどの縦割教育、花の日等の特設チャペル、ミッションウィークやクリスマス礼拝などのキリスト教に関する行事など、開校初年度には多彩なプログラムを展開したが、それらのプログラムの検証を行い、改善・充実を図り、児童の一人ひとりの充実した学びを推進する。

(2) 広報活動の充実

開校初年度はマスコミ等に取り上げられ、メディアに登場する機会も多かったが、2年目以降は、これらの報道も減少することが予想される。そこで、プレスリリースを積極的に行ったり、近隣幼稚園等への広報活動を強化したりするなど、広報活動の充実を図る。また、小学校単独ではなく、学院の各学校と協力した広報活動の展開も模索していく。

(3) 中学校との接続方法の明確化

今年度は最上級生が4年生に進学するため、卒業後の中学校進学に対する方針についても明確化し、児童及び保護者に説明する必要がある。そこで、中学校との協議を進め、小学校卒業生の受入方針について具体的に決定し、公表することを目指す。

V. 舞鶴幼稚園事業計画

1. 教育理念と目標

理念：キリスト教保育をとおり、思いやりの心を培いながら、ひかりの子として個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実施する。

目標：①神に愛されている自分を知り、他の人たちを愛する喜びと生命の大切さを知るようになる。(キリスト教保育)

②明るくのびのび活動する中で、丈夫な心と身体を育て、楽しく仲間づくりをする。(のびのび保育)

③障がいをもった子どもと共に育ちあうことを目指す。(統合保育)

④年齢の異なる子どもたちが一緒に遊び、親しく交わる。(たてわり保育)

2. 中長期計画

(1) 社会情勢の動向を見ながら、従来から大切にしてきた舞鶴幼稚園の保育の特色をアピールする。

(2) 全学年7クラスの体制を維持し、在園児数を安定させる。

(3) 子育て支援を更に充実させ、未就園児クラス、預かり保育の環境整備を行う。

(4) 西南学院大学、西南学院小学校、早緑子供の園、西南こどもプラザとの連携の方法について考えていく。

3. 2011年度における主な事業計画

(1) 地域の子育て支援の活動として「親子であそぼう会」「育児相談会」を拡大し、地域への一方的な呼びかけだけでなく、地域との積極的な交流を模索する。

(2) 6月に出される、早緑子供の園と合同での将来計画委員会の答申案をもとに、国の政策への対応を検討する。

(3) 保育の質の向上を目指し、定期的に児童教育学科教員等の指導を受けながら園内研修会をより充実させる。

(4) 現園舎建築より9年が経過したため、建物、機器備品の点検や、不具合箇所の修理補修など計画的に進める。

(5) 2013年の舞鶴幼稚園創立100周年に向けて、記念事業の計画、準備を開始する。

VI. 早緑子供の園事業計画

1. 保育理念と目標

西南学院の保育所としてキリスト教を土台に、この時代に生きる子どもたちの健やかな成長を保障する。一人ひとりを大切にする保育を目指し、長時間保育のさまざまな場面で、子どもたちの真の自立を援助する。

2. 中長期計画

- (1) 待機児童解消や小学校との接続の連携強化などの現代の保育所に求められ役割や使命を果たすために、保育所情勢の動向も踏まえながら、西南学院の保育所として可能な事柄を、さまざまな観点から模索する。
- (2) 舞鶴幼稚園との将来検討委員会で、両園の伝統や特色を活かしつつ、時代のニーズに合わせたこれからの幼稚園と保育所の在り方について検討していく。

3. 2011年度における主な事業計画

(1) 保育内容の充実

- ① 各クラスの保育について、主任と保育リーダーの保育士が定期的にそれぞれのクラスに入ることで、クラスの課題を明らかにし、保育の質の向上に努める。
- ② 園内研究会と保育内容検討会を充実させ、非常勤保育士も含めて保育観の一致を図り、自己評価を実践に活かすための学びを深める。

(2) 西南学院大学との連携

保育実践を学ぶ場として、行事や勉強会などの場を学生に提供する。そのための学生への情報開示方法などのシステムを整備する。

(3) 地域への貢献

- ① 地域の親子を園に招き、多様化する保育所の役割のひとつとして求められる地域の子育て支援の充実を図る。
- ② 保育士が、公民館などで講演をしたり育児相談を受けたりして、地域の子育て支援に協力する。

(4) 施設の充実

園舎建築後9年目に入るため、施設整備の点検や不具合箇所の修理改築など、計画的に進める。

VII. 資料

各学校事業及び行事 [2011(平成23)年4月1日～2012(平成24)年3月31日]

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	・新任教職員オリエンテーション ・キ学教同盟西南地区協議会総会	・入学式 ・オリエンテーション ・前期授業開始 ・九州六大学野球春季応援合戦
5月	・学院創立記念式典	・留学生別科終了式 ・学院創立記念式典 ・春季キリスト教フォーカスウィーク
6月	・キ学教同盟総会 ・キ学教同盟西南地区中高聖書科研修会 ・日本バプテスト連盟事業体懇談会	
7月	・キ学教同盟事務職員夏期学校 ・キ学教同盟夏期研究集会	・入試説明会 ・前期試験 ・オープンキャンパス ・大学院オープンキャンパスウィーク
8月	・キ学教同盟西南地区夏期学校 ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション ・キ学教同盟西南地区校長会 ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会 ・職員夏期修養会	・夏季休暇 ・留学生別科入学式
9月	・キ学教同盟大学部会研究集会 ・キ学教同盟西南地区大学部会研究集会 ・伝道者養成に関する協議会	・修学懇談会 ・教員懇談協議会 ・大学院秋期入試 ・法科大学院入試(未修者試験・法学既修者認定試験) ・前期卒業証書・学位記授与式 ・後期授業開始
10月		・3年次転・編入等、帰国子女入試 ・ホームカミングデー
11月	・キ学教同盟西南地区事務長会 ・キ学教同盟全国学校代表者協議会 ・日本バプテスト連盟定期総会	・大学祭 ・秋季キリスト教フォーカスウィーク ・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試
12月	・西南学院教職員クリスマス ・西南学院コミュニティークリスマス	・キャンドルサービス ・冬季休暇
1月	・キ学教同盟西南地区校長会	・大学入試センター試験 ・後期試験
2月		・一般入試、センター試験利用入試、 一般入試及びセンター試験併用型入試 ・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試合格者発表 ・大学院春期入試 ・法科大学院入試(既修者試験)
3月		・センター試験利用入試(後期)合格者発表 ・西南ファカルティリトリート ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・新入生オリエンテーション ・保護者学校説明会 ・保護者進路説明会 ・健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・1年学院紹介オリエンテーション ・2年集団生活 ・保護者学年・学級懇談会 ・健康診断
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会 ・学院創立記念式典 ・中間考査 ・同和研修会 ・教員聖書研究会 ・教育実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立記念式典 ・中間考査 ・同和研修会 ・後援会総会 ・前期ミッションウィーク ・教員聖書研究会 ・教育実習
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期ミッションウィーク ・同和特設授業 ・保護者面談 ・期末考査 ・教育研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・同和特設授業 ・クラスマッチ ・期末考査 ・保護者面談 ・早朝読書週間
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・終業式 ・前期補習 	<ul style="list-style-type: none"> ・終業式 ・中体連 ・指定者補習
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期補習 ・訪豪研修旅行 ・夏期教員研修会 ・私学展 	<ul style="list-style-type: none"> ・サマースクール ・夏期教員研修会 ・私学展
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・スポーツフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・体育大会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・2年生林間学校 ・1年・3年遠足 ・同和特設授業 ・学校説明会(塾対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・学年別遠足 ・学校説明会(塾対象) ・入試説明会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期ミッションウィーク ・保護者面談 ・教育懇談会 ・読書週間 ・入試説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期ミッションウィーク ・合唱発表会 ・早朝読書週間
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・クリスマス礼拝 ・フェアウェルパーティ ・一貫生入学説明会 I ・教員聖書研究会 ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・同和特設授業 ・クリスマス礼拝 ・教員聖書研究会 ・終業式 ・指定者補習
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・専願入学試験 ・専願入試合格発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・入学試験 ・合格発表 ・進路交流会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期入学試験 ・前期入試合格発表 ・後期入学試験 ・後期入試合格発表 ・教員聖書研究会 ・期末考査 ・卒業礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学説明会 ・3年修学旅行 ・教員聖書研究会 ・期末考査
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・期末考査 ・転入学試験 ・入学説明会 ・終業式 ・訪米研修旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・修了式 ・終業式

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・入学式 ・新入生オリエンテーション ・1stアセンブリー(歓迎) ・アチーブメントテスト ・後援会講演会 ・イースターチャペル ・懇談会 ・ウエルカムピクニック ・防犯教室 ・2ndアセンブリー(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始園式 ・入園式 ・教会学校開始 ・父母礼拝開始 ・母の会総会 ・家庭訪問
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立記念式典 ・学習参観 ・芸術鑑賞会(音楽) ・避難訓練 ・ミッションウィーク ・春のArtWeek(スケッチ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児保育・預かり保育開始 ・学院創立記念式典 ・父親参加の日 ・光組社会見学 ・ミニ講演・育児相談 ・歓迎遠足 ・防災訓練 ・親子であそぼう会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会 ・花の日チャペル(施設訪問) ・個人懇談 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・交通安全教室 ・ミニ講演・育児相談 ・光組社会見学
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開・説明会 ・学期末懇談会 ・ネイチャーキャンプ ・学期末テスト ・平和学習 ・ネーバーキャンプ ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学 ・夏まつり ・1学期終業 ・夏期休暇 ・未就園児対象ちびっこ水あそび
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・夏期保育 ・光組合宿保育
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・夏休み作品展 ・入試説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業 ・未就園児対象ちびっこどろんこあそび ・ミニ講演 ・教会学校、父母礼拝2学期開始
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル ・避難訓練 ・ミッションウィーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入園募集説明会 ・運動会 ・月組お泊り保育 ・親子であそぼう会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキー作り ・サンクスギビングチャペル ・3rdアセンブリー(縦割り) ・入学試験 ・遊びのファクトリー(3年生) ・合格発表 ・芸術鑑賞会(演劇) ・秋のArtWeek 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講演会 ・新入園児面接 ・みかん狩り遠足 ・感謝祭礼拝 ・光組社会見学
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習参観・懇談会 ・学期末テスト ・クリスマスチャペル ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・クリスマス祝会 ・2学期終業 ・冬期休暇
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・ブレインオリンピック ・アチーブメントテスト ・新1年生入学説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業 ・親子もちつき大会 ・教会学校・父母礼拝3学期開始 ・親子であそぼう会 ・未就園児クラス募集説明会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のArtWeek(校内書写展) ・学習発表会(2、3、4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春を呼ぶ会 ・母の会総会 ・卒業礼拝
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト ・学習参観・懇談会 ・修了式 	<ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学 ・卒業式 ・終業式 ・新入園児体験入園 ・子ども同窓会 ・カリキュラム研究会

(7) 早緑子供の園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式 ・保育開始 ・イースター礼拝 ・幼児クラス保護者懇談会 ・乳児クラス保護者懇談会 ・年長児社会見学1
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・春季総合検診 ・学院創立記念式典 ・保育園で遊ぼう会1 ・保護者会総会 ・親子遠足
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・年長児社会見学2 ・歯科検診 ・おもちゃ作りの会 ・育児講座1
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会2 ・さみどりこどもまつり ・プール開き
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・お泊り保育説明会 ・小・中学生の集い
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会3 ・お泊り保育 ・卒園記念製作(やきものづくり) <p>VII. 資料</p>
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学3 ・乳児クラス保育参観 ・運動会 ・秋季総合検診
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会4 ・感謝祭礼拝 ・幼児クラス遠足 ・新年度入所申込書配布開始 ・入園説明会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・アドヴェント礼拝 ・クリスマスメッセージ ・こひつじクリスマス ・さみどりクリスマス
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入所申込書受付開始 ・小学生同窓会 ・保育園で遊ぼう会 ・育児講座2
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室 ・就学相談会 ・年長児社会見学4 ・新年度入所児発表・面接 ・幼児クラス保育体験会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会お手伝いの会 ・幼児クラス保護者懇談会 ・乳児クラス保護者懇談会 ・お別れ会 ・お別れ遠足 ・卒園式 ・保育終了